凛として 朗らかに 爽やかに　RYUKOKU GAKUEN

龍谷の教育

No.165

2023.Spring

〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25　電話 0952-24-2244　FAX 0952-24-3828　URL https://www.sagaryukoku.ed.jp

色々満喫!!

1人1台端末、その先を考える

主幹教諭 中島一明

生徒がＩＣＴを使いたい時、自由に使える環境の整備と学校文化の醸成が必要だと考えている。本校でも、以前は生徒のスマートフォンの持ち込みや使用を禁止していた。そうした状況を振り返ると、私たちはまさに大きな意識改革を乗り越えてきたのだと改めて思う。

１人１台端末は、個別最適な学びを実現するための文房具として活用されなければならない。探究的に個別最適な学びを行い、Society 5.0を生き抜く力を身につけるためには、さらにその先の目標提示と異なるゴールに対応できる環境が必要である。

GIGA端末が目指す活用は、毎日各自で端末を開けて一日使うという姿である。例えば、手元のノートのような役割である。ところが日本では、ＩＣＴ活用とは教員用端末から電子黒板等に提示するレベルであり、１人１台端末は、教員の監理の下、ＰＣ室でやっていたように普通教室でも行うというイメージがまだまだ強い。こうした活用は、例えるなら、佐賀から福岡までわざわざ飛行機で行くようなものである。つまり、到達目標が以前とそれほど変わらない（近距離）とすれば、情報化による効果はほとんど得られないということである。近すぎるゴールは誤解を招いてしまう。結局「効果は薄い」「これまでの方法が一番効率的」となりがちである。

そこで提案したいのが、「自らゴールを設定しやすい学びの環境の設定」である。GIGAスクールの特徴は『クラウド』が使えることである。個人の学びの軌跡（文書・写真・音声など）をクラウドに蓄積するのは１人１台端末でできる。学習や特別活動、成果発表会等、何等かの機会でクラウド上のデータを編集して他者に披露することで、学びはさらに強化される。学校全体で共有できるクラウドは最大の武器になる。

成果物制作の際、高度な編集ソフトや編集機材、３Ｄプリンター、高性能ＰＣや大画面ディスプレイを配備した環境（メディアラボ）があれば、生徒の成果物の高度化やSTEAM教育を促す。情報社会でデジタルやオンラインの膨大な情報を扱うのが当たり前になれば、生徒の表現やものづくりもまた高度に多様になる。メディアラボはそれらを具現化するオープンエンドな創造的な場となるだろう。

本校ではそういった背景の中で４月にメディアラボが学校内に開設された。すべてのＰＣに同じ機能を備える必要はない。４Ｋ映像を大画面上で編集できる、３Ｄプリンターに出力できる、高度なデジタル編集ツールがある等、特化した性能のＰＣ等が数台ずつあり、用途に合わせて活用できれば良い。メディアラボは、それぞれが自身のゴールを見つけることができる、教育の個性化につながる創造的な環境として機能する。

教員がすべてを教える必要はない。自ら学びを駆動できる層は、教員が想定しているよりずっと多いことに気付くはずである。目指すゴールを変えると「限界」が変わる。生徒の力を信じてそれぞれのゴールに向かって進める環境の提供が最も自然で、個別最適な学びにもSTEAM教育にも探究的な学びにも寄与すると考えている。

「たたくより　たたえ合おう」

テレビやネットなどで昨年から見かけるＣＭ動画があります。

公益社団法人ＡＣジャパンという会社が作成しているもので、ラッパーとおばあさんが出てくるＣＭです。コンビニでおばあさんがお会計をするシーンから始まります。値段を聞きおばあさんはお財布からお金を準備しようとするのですが、後ろには数人並んでいておばあさんは早くしなければと焦ってしまいなかなかお金を取り出すことができません。店員さんに「ごめんなさいね、遅くてごめんなさいね」と謝りながらどんどん焦ってしまいます。すると後ろに並んでいた恐そうな男性が「Ｙｏ、もしかして焦ってるのか、おばあさん」と声をかけたかと思ったら、ラップで「誰も怒ってないよ、心配しなくていいよ、マイペースでいいんだよ」ということを伝えました。するとおばあさんも「迷惑かけて申し訳ないと思っていた、まさかお兄さんから優しい言葉かけてもらえるなんて、正直お兄さんを見た目で判断していた、反省」ということをなんとラップで答えました。そこから二人のラップの掛け合いが始まり、最後に男性とおばあさんがお互いをリスペクトしグータッチをすると、レジにいた店員さんが「たたくより、たたえ合お～、それが優しい世界～」と歌いだし、コンビニ内に居合わせた方々も歌に合わせて体を揺らして、コンビニ中が優しい世界に包まれるという形でそのＣＭは終わっていきます。

ＣＭのタイトルは『寛容ラップ』というそうです。今日、多様性が求められる時代であり、世代を問わず、自分と異なる立場や考え方に対する不寛容な行動が社会的にまだまだ多いということに注目をされ、相手を尊重し認め合うことの大切さを伝えたい、また、相手に対して寛容な態度や言葉を示すことで優しい世界が広がっていくのではないだろうかということを伝えたいという思いから作成されたそうであります。

多様性を受け入れる、寛容な態度や言葉で示すことの大切さを頭では理解していても、物事を自分中心で見ている〝私〟でありますから、反対に差別をしていたり、不寛容な態度や言葉を発してしまうのが本来の〝私〟の姿なのではないでしょうか。

浄土真宗を開かれた親鸞聖人が最も敬われた方のお一人に、中国の『善導大師』という僧侶の方がいらっしゃいます。善導大師は次の言葉を著書の中に残されています。

経教はこれを喩うるに鏡のごとし

（『観経疏』序分義）

これは、お経はたとえると鏡のようなものですという意味で、仏教（お経）という鏡に映し出された私の姿は、本来の自分の姿が明らかになるんですよとお示しくださいました。そして親鸞聖人も阿弥陀如来という仏様の智慧と慈悲のおはたらきによって、私の本来の姿が明らかになっていく、気づかされるとお説きくださいました。

龍谷中学校・高等学校の皆様は、日々の学校生活を通して仏教に触れていただいております。時が流れて卒業、進学、就職など、これからたくさん環境が変わっていくと思います。楽しいこと、嬉しいことのいいことばかりではなく、悲しいこと、つらいこと、苦しいこと、いろんな場面に遭遇することもあるかもしれません。日々物事に流され、揺れ動き、振り回される〝私〟の心でありますが、頭の片隅に「仏教という鏡を通して自分の本来の姿が明らかになるって言ってたな」と思いだしていただけると、また改めて自分の姿に気づかされた時に、その度に「たたくより　たたえ合おう」と自分分の事も相手の事も尊重し、多様性を受け入れ、また寛容な態度や言葉を発することができる、そんな素敵な〝私〟になれるのではないのかなと思うことであります。

（文責・水町賢心）

同朋

２年生修学旅行に行ってきました！

2/13
～
2/17

1日目は福岡空港から羽田空港へ飛行機移動をし、築地本願寺へ行きました。あいにくの雨の中でしたが、築地本願寺ではその歴史やお祀りしている仏像や建物の説明など拝聴しました。それは立派な金のお堂でどこかオリエンタルな感じの建物でした。その後時間は押しましたが無事ホテルに到着しました。

2・3日目はお天気に恵まれ、絶好のスキー日和になりました。初めてスキーをする生徒が多く、スキー靴を履くのも一苦労していたようです。しかし、いったん慣れると颯爽と滑る生徒も出てきてとても楽しそうでした。故障等でスキーに参加できない生徒も、タイヤに乗って雪遊びをしたり別研修に出かけたりしました。

4日目は東京ディズニーランドで終日夢の国を満喫しました。最終日は隅田川クルーズをして、船の上から東京観光をしました。船の上ではスカイツリーや東京タワー、ベイブリッジをバックにたくさんの写真が撮られていました。

「長い時間友達といたことで、それぞれを尊重することの大切さを学べた気がした」「ディズニーランドで外国の方に声をかけられ、慌てる自分が恥ずかしかった。もっと英語を勉強しようと思った」「仲間と協力する大事さを改めて学んだ。本当に充実した修学旅行だった」など、たくさんの学びがあった修学旅行でした。

コロナで3年ぶりのスキー修学旅行でした。保護者様や関係の方々のご尽力で実施できたことを改めて感謝申し上げます。生徒たちにとってかけがえのない時間になったと思われます。ありがとうございました。今後とも学校教育へのご協力をお願いいたします。

（文責　北村）

２年D-pro・進学説明会

２年総合コースは10月１日(土)と11月５日(土)にD-proが行われました。佐賀県内の専門学校に出向いてそれぞれに各学校の特色を学び、実際に体験させていただきました。九州医療専門学校様・佐賀コンピューター専門学校様・佐賀工業専門学校様・エッジ国際美容専門学校様・西九州大学佐賀調理製菓専門学校様の５校のご協力のもと、進路選択の手助けになったと思われます。生徒たちも違うジャンルの２校を楽しく体験できたようです。

（文責　北村）

10月17日(月)には学年全員参加で進路ガイダンスがロイヤルチェスター佐賀で行われ、福岡・佐賀・長崎にある大学や専門学校の先生方にお越しいただき、学校の説明や入試に必要なことなど具体的なお話を伺いました。希望するブースに出向き、それぞれメモをとるなど熱心に説明を聞いていました。

（文責　北村）

ピアノ発表会

令和５年２月４日、佐賀市美術館ホールにて第９回保育コース３年・ピアノ発表会が行われました。３年生にとっては３年間の集大成であり、高校生としてクラス全員が集まって演奏する機会はこれが最後です。日頃元気の良い３年生ですが、本番前の舞台裏はピリピリとした緊張感に包まれていました。しかし、ひとたび演奏が始まると自分の音楽をどう表現し伝えるか、各々が真摯に音楽と向き合って演奏する姿が見られました。彼女たちが奏でる優しく美しい音色は心に響き、大きな感動をもたらしてくれました。また、今年から１・２年合同合唱、３年生による合唱も加わり、より一層保育コースらしいピアノ発表会となりました。これまで指導してくださった先生方、支え励ましてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。（文責　蒲原）

初の２人での弾き歌いで、最初は不安でしたが、先生や伴奏担当の三根明起さんと練習を重ねるにつれて自信がついていきました。選曲した「ありがとうの輪」に両親への感謝の気持ちを込めて歌いました。**（３年　野田桃佳・成章中）**

伴奏の経験がなく、初めは歌と息を合わせることに苦戦し悩むことがありましたが、何度も練習を重ることで自信がつき、本番でも成功することが出来ました。**（３年　三根明起・城北中）**

最後という事で少し難しい曲を選びました。メロディーが綺麗に聞こえるように、強弱をつけたり速さを変えたり工夫をしました。本番では躓いた所もあったけど楽しく弾く事ができて良かったです。**（３年　樋口小紗・武雄中）**

私は、今回初めて友達と連弾に挑戦しました。今までは１人で演奏に向き合ってきましたが、連弾では2人で演奏に向き合わなければならなかったので、どのようにすれば一体感のある演奏になるのかを友達と２人で話し合いながら昼休みや放課後に練習を重ねました。そして、本番では今までで１番いい演奏をすることができ、学校生活のほとんどを一緒に過ごしてきた友達との最高の思い出になりました。**（３年　森　千尋・北方中）**

【表彰】全国高等学校長協会家庭部会・家庭科技術 保育技術検定　全種目１級合格

大石　朋花 さん　　遠田　璃音 さん

保育コース３年生の２名が家庭科保育技術検定において全種目１級合格を果たしました。保育技術検定は、音楽リズム表現技術、造形表現技術、言語表現技術、家庭看護技術の４種目からなり、高い技術が求められます。自主学習や課題、補習に取り組み難関を突破した２名に盛大な拍手を送りたいと思います。おめでとうございます！（文責　蒲原）

４種目それぞれ筆記と実技があるなか、私は言語表現技術を特に頑張りました。課題にあったお話を自分で考え、暗記をして語る「素話」は大変でしたが、練習を重ね納得のいく「素話」ができました。検定で身に付けた技術や知識を今後保育の現場で活かしていきたいです。（3年　遠田璃音・城南中）

検定を通して、表現力や発想力、実践力を高めることができました。また、筆記試験では、子ども達の心理や成長に関する知識を身に付けることができました。学んだ保育の知識やスキルを用い、将来子ども達をサポートしたいと思います。（3年　大石朋花・鳥栖西中）

スポーツで広がる笑顔の輪

第4回佐賀県立盲学校・龍谷高校　スポーツ交流会「ブラインドサッカー」

全国大会を決めた翌日11月14日、第４回佐賀県立盲学校・龍谷高校スポーツ交流会を龍谷高校人工芝サッカーグランドで行いました。寒さが心配されましたが、綺麗な青空が広がり、暖かい日差しが降り注ぐ中、ブラインドサッカー元日本代表ガイドの藤井潤氏を招いて、ブラインドサッカーを行いました。毎年この交流会に参加している盲学校の生徒さんたちから「今年も待ってました！」という言葉をいただきました。また、盲学校の校長先生から「全国大会での活躍を楽しみにしています。」、生徒会の役員の生徒さんから「龍谷高校サッカー部をずっと応援しています」と言っていただき、本当に嬉しかったです。

簡単なゲームから始まって、グランドを散歩したり、ミニゲームをしたり、自分たちでゲームを考えたりと、笑い声があふれました。毎年１回の交流会ですが、盲学校の生徒さんからは「１年に１回だけじゃなくて何回かやってほしい」「毎年楽しみにしている」というお手紙をいただき、自分たちにもできることがあるのだと実感しました。素敵なお礼の品も届きました。

特別なことではなく、自分たちが得意なこと、普段やっていることが、誰かと誰かを繋げたり、笑顔を生み出すことができる。これからもそれを忘れずに頑張っていきます。

佐賀県立盲学校の皆様、ご協賛いただいたMIZUNO様、大塚製薬様、ありがとうございました。

サガン鳥栖U-18
第46回日本クラブユースサッカー選手権（U-18）日本一!!

12月11日、東京・国立競技場であったＪリーグのユースと高校部活動の強豪チームで争う最高峰リーグ「高円宮杯JFAU-18サッカープレミアリーグ」ファイナルで、川崎フロンターレU-18と対戦、３―２で逆転勝ちし、高校生世代日本一に輝きました。プレミアリーグの西地区は最後の最後まで混戦を極めました。最終的に優勝を争ったのはヴィッセル神戸U-18。共に勝ち点43で並びましたが、得失点差で神戸を３上回り、ファイナル出場を決めました。時を同じくして、選手権出場を決めたサッカー部と合同壮行式を行い、戦うステージは異なっても、同じサッカーを志す仲間として、健闘を誓いました。これからもお互いに切磋琢磨し合いながら、成長を続けていきたいと思います。また、主将だった福井太智選手はドイツバイエルンミュンヘンへの移籍が決定し、海外での挑戦が、そして、楢原選手、坂井選手、竹内選手、大里選手はJ１サガン鳥栖に昇格、それぞれプロとして新たなステージへと進みます。これからも応援よろしくお願いします。

つむぎあい活動

～龍谷こども園とのペア活動～

保育コース３年生と龍谷こども園の園児がペア組み、１年間担当園児と様々な活動を行いました。「花植え」「運動あそび」「飛行機飛ばし大会」「びっくり箱作り」「凧あげ」「キッズバルーン」「芋ほり」などの活動を通し、おねえちゃん先生として、担当の園児に寄り添い、園児の為に一生懸命取り組む姿が見られました。そして、徐々に園児達との距離も縮まっていきました。最後のお別れ会では、園児達が高校生一人ひとりに素敵なメッセージカードをプレゼントしてくれました。（文責　古賀）

３人の園児を担当しました。３人の園児を同時に見ることは大変でしたが、周りに気を配り、行動することができるようになりました。また、子ども達への声掛けもできるようになりました。（３年　岩谷明香里・武雄中）

ペア活動が始まった頃は不安で子どもたちも心を開いてくれず悩むことがありました。しかし、ペア活動を重ねていくうちに少しずつ子どもたちの性格とそれぞれの子どもたちへの接し方がわかり、ペア活動が楽しめるようになりました。実際に子どもたちと触れ合うことで学べることがたくさんあり、充実した１年になりました。（３年　中村友美・武雄中）

「諦めないことは勝つことよりも難しい」

第101回全国高校サッカー選手権大会　応援お礼

令和４年11月12日、鳥栖駅前不動産スタジアムにて行われた第101回全国高校サッカー選手権大会佐賀大会決勝。在校生、保護者の皆様をはじめ、多くの方々にスタジアムまで応援に来ていただきました。吹奏楽部の素晴らしい演奏もあり、少ないチャンスをものにして１－０で佐賀商業を破り、３年ぶり３回目の全国大会出場を決めることができました。そして12月29日、全国大会初戦。茨城県鹿島学園との一戦では立ち上がりの悪さを攻められ、０－２ビハインドで前半を折り返しましたが、後半ペースを握り続け、１点差まで詰め寄りましたが、あと１点届きませんでした。駒沢陸上競技場まで駆けつけていただきましたこと、そしてテレビの前での応援、本当にありがとうございました。皆様の応援に応えられなかったことは心苦しく思いますが、選手たちは大きな成長を遂げております。今後広い社会へ飛び立つ３年生、そして３年生の悔しさを受け継いだ後輩たちへの厳しく温かい応援をこれからもよろしくお願いいたします。

今回の第101回全国高校サッカー選手権大会には各地からたくさんの応援に来ていただき、本当にありがとうございました。その応援に応えることができなかったこと、そして立ち上がりの10分のプレーに関しては、悔しさと後悔が残っています。ずっと教えられてきた立ち上がりの難しさを全国の舞台で出してしまったことは自分たちの弱さだったと思います。それでも後半は龍谷のペースでたくさんのチャンスを作り出していきました。１点は返せたものの、後１点が本当に遠かったです。しかしそれも含めて自分たちの実力だったと思います。それでも最後まで自分たちを信じてスタッフはサッカーをさせてくれました。

今大会で多くの人が龍谷高校サッカー部に注目をしてくれました。だからこそ、本当に後輩たちには頑張ってほしい。彼らなら必ず自分たちの借りを返してくれると信じています。もっとこのメンバーと戦いたかったです。もっともっと一緒にボールを追いかけていきたかったです。勝負の厳しさの中で、ここまでのチームになったことを本当に誇りに思います。最後になりましたが、応援してくださった全ての方々、そして監督、スタッフ、チームメイト、保護者に心から感謝を伝えたいです。

ありがとうございました。

主将　今野　友聖（FC.ヴィアージャ）

←全国大会特設ページもぜひご覧ください。

部活動ニュース

空手道部

◇令和4年度第1回佐賀県高等学校空手道錬成大会（2月5日 佐賀東高等学校新体育館）
。男子団体組手 優勝
。女子団体組手 優勝
。男子個人組手
優勝 江下 菫人（①佐大附属）
3位 大久保昊汰（②諸 冨）
。女子個人組手
2位 光吉菜々美（①昭 栄）
5人抜き賞 山口 心美（①福岡 志賀）

柔道

◇令和4年度 男子75回佐賀県高等学校新人柔道大会・女子第33回佐賀県高等学校新人柔道大会（10月22・23日 唐津東部少年武道館）
。男子団体
荒巻 幸平（②有 田）
西原 大地（②昭 栄）
大久保竜真（②有 田）
3位
桂川 昂大（①田主丸）
近藤 涼空（①須 恵）
川口 眞（①神 埼）
。男子個人73kg級
2位 大久保竜真（②有 田）
。男子個人81kg級
3位 西原 大地（②昭 栄）
。男子個人100kg級
2位 荒巻 幸平（②有 田）
。女子個人63kg級
2位 宮原 杏奈（②北茂安）
◇第45回全国高等学校柔道選手権大会佐賀県大会（1月21・22日 唐津東部少年武道館）
。男子団体
荒巻 幸平（②有 田）
西原 大地（②昭 栄）
桂川 昂大（①田主丸）
3位
桂川 昂大（①田主丸）
近藤 涼空（①須 恵）
川口 眞（①神 埼）
。男子個人無差別級
2位 荒巻 幸平（②有 田）
3位 桂川 昂大（①田主丸）
。男子個人73kg級
3位 西原 大地（②昭 栄）
。女子個人48kg級
2位 川口 華（②神 埼）
。女子個人63kg級
3位 宮原 杏奈（②北茂安）

剣道部

◇令和4年度佐賀県高等学校新人剣道大会兼九州高等学校選抜剣道大会県予選（10月22・23日 吉野ヶ里文化体育館）
。男子団体
古川 凌大（②龍 谷）
小西 武（②飯塚日新館）
富永 耀仁（②有 田）
内田 尚希（①龍 谷）
2位
川内 夢翔（①神 埼）
野中 遥稀（①神 埼）
古川 雄大（①大 和）
。女子団体
大田 梨華（②龍 谷）
西川 希梨（②東与賀）
小川 なな（①龍 谷）
友永 心絆（①相 知）
橋本 真央（①小 城）
森口 璞瑛（①西宮塩瀬）
弓 翔太（①北茂安）
◇令和4年度第19回佐賀県高等学校剣道大会兼第32回全国高等学校剣道選抜大会県予選会（12月18日 致遠館高等学校）
。男子団体
古川 凌大（②龍 谷）
内田 尚希（①龍 谷）
川内 夢翔（①神 埼）
2位
野中 遥稀（①神 埼）
古川 雄大（①大 和）
森口 璞瑛（①西宮塩瀬）
弓 翔太（①北茂安）
。女子団体
大田 梨華（②龍 谷）
西川 希梨（②東与賀）
小川 なな（①龍 谷）
3位
友永 心絆（①相 知）
橋本 優那（①大 和）
橋本 真央（①小 城）
◇令和4年度第37回九州高等学校選抜剣道大会（2月4・5日 宮崎県日南総合運動公園多目的体育館）
。男子団体 予選リーグ敗退
古川 凌大（②龍 谷）
小西 武（②飯塚日新館）
富永 耀仁（②有 田）
内田 尚希（①龍 谷）
川内 夢翔（①神 埼）
野中 遥稀（①神 埼）
古川 雄大（①大 和）
森口 璞瑛（①西宮塩瀬）
弓 翔太（①北茂安）
。女子団体 予選リーグ敗退
大田 梨華（②龍 谷）
西川 希梨（②東与賀）
小川 なな（①龍 谷）
友永 心絆（①相 知）
橋本 優那（①大 和）
橋本 真央（①小 城）
。女子個人
2回戦敗退 友永 心絆（①相 知）

弓道

◇全国高等学校弓道選抜大会（11月12・13日 多久市緑が丘弓道場）
。女子団体 予選敗退
女子A
加藤日和子（②城 西）
水町 美心（①諸 富）
内田 早紀（②佐大付属）
清水 愛子（①思斉館）
女子B
藤田 優咲（②金 泉）
若林 侑花（①成 章）
岩本美乃里（①城 西）
種村 莉子（①小 城）
。男子個人
予選敗退 大野 碧空（①東脊振）
◇佐賀県高等学校2年生大会・U-16大会（12月10・11日 多久市緑が丘弓道場）
。2年生大会
女子A 予選敗退
加藤日和子（②城 西）
内田 早紀（②佐大付属）
藤田 優咲（②金 泉）
女子B 予選敗退
山下 美幸（②諸 冨）
酒井 帆叶（②三 根）
。U-16大会 女子A 予選敗退
水町 美心（①諸 富）
清水 愛子（①思斉館）
岩本美乃里（①城 西）
。U-16大会 女子B 予選敗退
若林 侑花（①成 章）
種村 莉子（①小 城）
藤戸 久遠（①龍 谷）
。男子個人
予選敗退 大野 碧空（①東脊振）
予選敗退 渡邊 龍一（①佐大付属）

テニス部

◇第50回佐賀県高等学校テニス新人大会（10月8・9・15・16日 SAGAサンライズパーク庭球場・松浦河畔公園庭球場）
。男子シングルス 8位 槇 侑聖（①東与賀）
。男子ダブルス 準優勝 槇 侑聖（①東与賀）
〔松本涼太郎（①城 北）〕
◇第45回佐賀県秋季ジュニアテニス選手権大会（12月3・4日 SAGAサンライズパーク庭球場）
。16歳以下男子シングルス
ベスト8 槇 侑聖（①東与賀）
◇第22回新春高校テニストーナメント大会（2月4・5日 森林公園庭球場）
。男子シングルス
5位 槇 侑聖（①東与賀）

ソフトテニス部

◇令和4年度佐賀県高校新人ソフトテニス大会（10月24日 SAGAサンライズパーク庭球場）
。男子団体 ゲーム数で敗退
1回戦 龍 谷 1対1 唐津商業

自転車競技部

◇第77回国民体育大会自転車競技（10月5～9日 宇都宮競輪場/那須町特設ロードレースコース）
7名出場
◇令和4年度佐賀県高等学校自転車競技新人大会（11月3日 武雄競輪場）
。男子スプリント 11秒39（予選タイム）
1位 松尾 研司（②武 雄）
。男子1kmタイムトライアル 1分08秒39
1位 松尾 研司（②武 雄）
。男子ケイリン
1位 松尾 研司（②武 雄）
。女子フライングスタート300m 14秒03
1位 原 愛華（①川 登）
。女子500mタイムトライアル 40秒95
1位 原 愛華（①川 登）
。女子2kmインディヴィデュアルパーシュート
1位 原 愛華（①川 登） 2分51秒32
◇令和4年度全九州高等学校自転車競技新人大会（11月11～13日 HSR九州／久留米競輪場）
。男子1kmタイムトライアル 1分10秒172
2位 松尾 研司（②武 雄）
。男子ケイリン
7位 松尾 研司（②武 雄）
。男子スプリント 11秒622（予選タイム）
6位 小林 優太（①肥 前）
。女子個人ロードレース 44分08秒7
8位 原 愛華（①川 登）
。女子500mタイムトライアル 41秒507
8位 原 愛華（①川 登）
。女子2kmインディヴィデュアルパーシュート
6位 原 愛華（①川 登） 2分59秒869
。女子スプリント 13秒872（予選タイム）
4位 原 愛華（①川 登）

男子バスケットボール

◇第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会佐賀県大会（10月29・30日、11月3日 唐津工業高校）
2回戦 龍 谷 75－41 鳥栖商業
3回戦 龍 谷 50－95 唐津工業
◇SSPフレッシュシリーズ2022 第74回佐賀県高等学校バスケットボール新人大会兼第53回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会佐賀県大会（12月10・11日、1月14・15日 龍谷高校）
2回戦 龍 谷 75－40 伊万里実業
3回戦 龍 谷 39－110 佐賀東

女子バスケットボール

◇第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会佐賀県大会（10月29・30日、11月3日 伊万里実業高校・唐津東高校）
1回戦 龍 谷 95－51 神 埼
2回戦 龍 谷 38－77 佐賀東
◇SSPフレッシュシリーズ2022 第74回佐賀県高等学校バスケットボール新人大会兼第53回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会佐賀県大会（12月10・11日、1月14・15日 鳥栖高校）
1回戦 龍 谷 58－49 弘学館
2回戦 龍 谷 32－138 佐賀北

サッカー

◇第101回全国高校サッカー選手権佐賀大会（サンライズパーク・鹿島市陸上競技場・駅前不動産スタジアム）
優勝
龍 谷 5－0 致遠館
龍 谷 4－2 唐津商業
龍 谷 3－1 佐賀学園
龍 谷 1－0 佐賀商業
◇第101回全国高校サッカー選手権（駒沢陸上競技場）
龍 谷 1－2 鹿島学園（茨城）
◇令和4年度佐賀県高校サッカー新人大会（龍谷人工芝G・健康センター）
ベスト4
龍 谷 0－0 佐賀工業 PK 5－3
龍 谷 4－1 清 和
龍 谷 0－1 佐賀東

男子バレーボール

◇第75全日本バレーボール高等学校選手権大会佐賀県予選（11月5日 有田工業高等学校）
ベスト16
1回戦 龍 谷 1－2 有田工業
2回戦 龍 谷 0－2 鳥 栖
◇令和4年度 佐賀県高等学校新人バレーボール大会（1月21・28日 鳥栖工業高校）
ベスト8 龍 谷 2－1 小 城
1回戦 龍 谷 2－1 小 城
2回戦 龍 谷 1－2 北 陵

女子バレーボール

◇第75全日本バレーボール高等学校選手権大会佐賀県予選（11月5日 伊万里実業高等学校）
ベスト16 2回戦 龍 谷 0－2 佐賀北
◇令和4年度 佐賀県高等学校新人バレーボール大会（1月21日 佐賀商業高等学校）
ベスト16 2回戦 龍 谷 0－2 鹿 島

野球部

◇令和4年度佐賀市高等学校野球一年生大会（11月3～12日 北陵高校多目的グラウンド・佐賀学園高校多目的グラウンド）
優勝
2回戦 龍 谷 4対3 佐賀工業
準決勝 龍 谷 6対4 佐賀学園
決 勝 龍 谷 4対1 佐賀商業

書道部

◇第34回 佐賀県高等学校総合文化祭（11月6日）
。秀 作 龍 萌々花（③諸 富）
豊増 志穂（③龍 谷）
鐘ヶ江朱香（③龍 谷）
深川 礼乃（③龍 谷）
西 竜平（②北 方）
梶原 佑月（①龍 谷）
石井 佐和（③成 章）
。入 選
◇第47回 佐賀県高等学校臨書展（1月6日）
。奨励賞 龍 萌々花（③諸 富）
鐘ヶ江朱香（③龍 谷）
豊増 志穂（③龍 谷）
石井 佐和（③成 章）
西 竜平（②北 方）
松本 華（②佐賀附属）
。秀 作

吹奏楽部

◇第40回九州マーチングコンテスト（10月9日 西原商会アリーナ）
銀 賞
◇第48回佐賀県吹奏楽アンサンブルコンテスト（12月25日 佐賀市文化会館大ホール）
金 賞 佐賀県代表

美術部

◇第34回佐賀県高等学校総合文化祭（11月6日 佐賀県立博物館・美術館）
。立体部門
準特選 深川 礼乃（③龍谷中）「喪失」
入 選 横須賀愛理（②龍谷中）「循環」
入 選 八田乃々華（②龍谷中）「実り」
。デザイン部門
佳 作 宮崎 濠（①龍谷中）「屋鳥の愛」
入 選 土橋 葵（①中原中）「ゴシック・アンド…」
◇第61回佐賀県高等学校デッサンコンクール（1月29日 佐賀県立佐賀北高等学校）
。石膏部門
奨励賞 横須賀愛理（②龍谷中）

放送部

◇第23回アパンセ杯放送コンクール（1月29日 アパンセ）
。朗読部門
審査委員特別賞 吉田眞悠子（③東与賀）

龍谷SDGsなう

『龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章』４つの柱に基づき、SDGs推進教育を行っています。（文責　徳森）

学校法人佐賀龍谷学園龍谷中学校高等学校SDGs行動憲章

①持続可能な社会を創造できる人を育成する教育を提供します

②持続可能な社会を創造できる人を育成する教育の場を創造します

③持続可能な社会を創造する地域の実現に貢献できる地域の基盤となります

④理想的な生徒の育成を実現するために教職員のディーセントワークを実践します。

まなびいフェスタに参加しました！！！

12月23日(日)県主催『まなびぃフェスタ』(於アバンセ)に龍谷中学校・高等学校が参加しました。特設ステージでは「そうか、納得！SDGs！！！」と題して、SDGs活動プレゼン発表をしました。ホワイエでは、「やっとく？知っとく？SDGs！」と題して、LGBTQ＋支援者ALLYを広めるブレスレット・念珠づくり・ステッカー配布、自然界を感じる万華鏡づくりのワークショップを行いました。４月から学んでいるLGBTQ＋をテーマに支援者ALLYになろうと試行錯誤してきました。準備段階からイベント当日まで、生徒たちのSDGs啓発・実行に向けての意欲的な活動・来場者対応など学ぶものが数多くありました。

来場者の声・・・「実はLGBTQ＋当事者である。龍谷中学校高校の若い世代が、向き合っていることに感銘を受けた。これからも活動を続けてほしい。」「ダウン症の子どもを連れてきたが、生徒の対応がとても自然で感動した。ALLYには賛同していて、今日このような活動を知ることができてよかった。多様性を認める教育を学校でされているのだと感心した。その後、ブレスレットが気に入り、作業所に毎日つけていっている。」

森川海人っフェスに参加しました！！！

11月20日(日)県主催『森川海人っフェス』(来場者2,440人)（於どん[3]の森ふれあい広場）に龍谷中学校・高等学校が参加しました。「まなびぃフェスタ」に引き続き、LGBTQ＋支援ALLYブレスレット、念珠づくり、さらに自然界を感じる木の葉・小枝の万華鏡づくり、LGBTQ＋支援テナント(水ヶ江)に飾るイラストづくりをしました。今年は『よかウッドフェスタ』と合同開催だったため、かなり大規模なイベントとなりました。他のブースはテント１張だったところ、龍谷ブースはテント２張準備いただき、イベントに参加したい子ども達が長蛇の列を作るほど大盛況でした。来場者の子ども達が参加している間に保護者の方々へ龍谷SDGsの取り組みを伝えることができました。また、生徒達の対応の素晴らしさを来場者から褒めていただく場面が多々ありました。山口県知事もブースへ足を運んでいただき、自然界を感じる万華鏡・ALLYステッカーに興味・関心を持っていただきました。今後も、生徒達に多くのSDGs理解・推進・寄与できる機会を提供していきたいと思います。

《生徒感想》

●私は木葉を利用した万華鏡作成のボランティアに参加しました。スパンコールなどの代わりに自然物を利用する目的などを説明し、山口県知事にも万華鏡の作り方を体験して頂きました。今回のボランティアで、SDGsについて今までよりも興味・関心を持つことができたと思います。私たちの行動で自然に影響を与え、そこに生息している生き物の尊い生命にも影響が出ていることを改めて感じました。今回の気づきや学びをこれからの生活に生かしていきたいと思います。**（松本　華　高校②佐大附属）**

●高校からスタートしSDGs学習。今回の活動もさらにSDGsについて学ぶチャンスだと考え、参加しました。小枝や落ち葉などを万華鏡に入れて自然に触れ合う万華鏡づくりでは、来場者の子どもが、ゴミとして捨てようとしていた青いビニールさえも材料として使用したことに感動を覚えました。私も今後の生活で、身近なところにまだ活用できる可能性のあるものを見いだしていこうと思いました。
（西　竜平　高校②北方）

●中学３年4月、LGBTQ+について学び、私には何が出来るのかと考えていたちょうどその頃、LGBTQ＋支援をしているアライの存在を知りました。美術部ということもあり、オリジナルのALLYステッカーを作る機会を得ました。どうしたら年齢や性別関係無く色々な人に知ってもらえるか考えながら制作しました。今回の活動で、私自身もLGBTQ＋を身近に感じることができました。今後の学校生活でも個々の良さを認められる人間になっていきたいです。**（金色ひより　中学③循誘）**

●ALLY念珠・ブレスレット体験を担当しました。イベント前に学校で何度も試作品を作りました。多くの人に教えられるように作り方はもちろん、LGBTQのこと・ALLYのカラーの意味など多くのことを学びました。さらにイベント当日は、人に何かを教えるとき相手のペースに合わせて丁寧に伝えることが大事であることを学びました。多くの人に今回の活動の意義が伝わればと思います。**（黒尾丸明咲　中学③北方）**

●私たちサイエンス部は、「みんなで万華鏡を作ろう！」を提案し、試作品を何度も作りました。既製品の材料ではなく、どのような自然界の物を使えば見応えある万華鏡を作れるかを考えました。作ってくれた方がみんな「綺麗！」と言ってくれて嬉しかったです。今回のイベントで「人に教える」経験を通して、今後何か相手に伝えるときはわかりやすくすることを意識しようと思いました。**（豊増　恒生　中学②旭）**

「経験」の大切さ、「発見」するおもしろさ

龍谷中学校
中高一貫 理数グローバル

英語で楽しくコミュニケーション

3年生国内語学研修

令和4年11月13日（日）～18日（金）、3年生は国内語学研修として山梨県にあるアチーブ・イングリッシュ・キャンプに出かけました。（元々、海外へ語学研修に行く計画でしたが、コロナ禍であるため実現できませんでした。）

研修中、参加者はオールイングリッシュが基本で、最初は苦労する生徒もいました。ですが、活動が進むにつれ、積極的にネイティブスピーカーとコミュニケーションをとってみたり、いつもと違う雰囲気の中で楽しく学んでいくなかで、だんだん自信が芽生え、充実した経験をすることができました。

（文責 村岡）

「国内フィールドワーク in 京都」

2年生感動・興奮・発見

令和4年11月15日（火）～17日（木）の三日間の日程で、2年生は国内フィールドワーク（校外研修）として「京都」に出かけました。

入学以来初めての宿泊研修となり、普段の学校生活とは違った活動（一日目は嵐山周辺散策、二日目は班活動（自由散策）、三日目は西本願寺参拝）を存分に楽しみました。

今回の研修に際して、事前学習や生徒同士で活動計画を立てるなど、自ら考え、行動することに挑戦しました。多くの生徒が初めて京都を訪れましたが、自分たちで立てたプランに従い、友達と協力し合って市内を散策しました。多少の不安もあったようですが、みんな生き生きとしており、充実した研修となりました。

（文責 森）

学習成果発表会

２月17日(金)、「学習成果発表会」を開催しました。１～３年生の各学年が個人やグループで取り組んできたものを紹介・展示しました。

具体的には、３年生の個人個人が作成したフューチャー・デザインのプレゼン発表。２年生がグループ毎で取り組んだ職場体験のまとめ発表。１年生が個人個人で考えたSDGs個人研究のプレゼン発表。その他、英語弁論や少年の主張、書道パフォーマンス。中学校ホールには、書や絵画、塑像、技術作品などどれも丹念に作られた作品が展示されました。

そして、三学年全員での感動的な合唱と盛りだくさんの内容となりました。発表者はもちろんですが、進行、音響、運営などもすべて生徒が役割を担い、全員で作り上げた発表会となりました。

（文責　松尾）

「誇りに思える学校」を目指して

令和５年度　生徒会執行部

新生徒会長の古賀　凜さん（②春日小）を中心に、新生徒会執行部が始動しました。

古賀会長は、『誇りに思えるような学校』を生徒みんなで築き上げていきたい。自分自身をしっかり成長させ、いろいろなことに積極的に挑戦する姿勢を身につけ、在学中はもちろん、卒業後も愛着を抱き続けられる学校にしたいと思います。」と意気込んでいます。これから生徒一人ひとりの活躍がとても楽しみです。

（文責　田久保）

受賞、おめでとう！

◆第46回佐賀県道場少年剣道学年別個人選手権（11／6）
中学3年男子の部
準優勝　平田　謙心（③思斉館）
中学3年女子の部
3位　川内丸　美緒（③千代田中部）
敢闘賞　大曲　遥寧（③銀水）
中学2年女子の部
3位　實松　久玲愛（②千代田西部）
敢闘賞　石橋　杏愛（②北明）
中学1年女子の部
準優勝　山崎　杏南（①西与賀）

◆第16回合志市剣道協会会長杯（11／20）
3位　新田有珠（①豊原）
豊増紗奈（①鹿島）

◆第38回川崎旗争奪少年剣道大会（11／27）
男子団体
優勝　川内丸　太一（②千代田中部）
女子団体
3位　石橋　杏愛（②北明）
實松　久玲愛（②千代田西部）
山崎　杏南（①西与賀）

◆寺田賞（令和４年度佐賀県模範選手）（1／23）
平田　謙心（③思斉館）

◆佐賀県東西対抗剣道大会（1／23）
優秀選手賞　平田　謙心（③思斉館）

◆第16回吉野ケ里町剣道大会（2／5）
女子個人の部
3位　豊増　紗奈（①鹿島）

◆第35回和道流空手道九州大会（11／23）
形　中学生女子の部
優勝　小島　彩瑛（①佐大附属）
組手　中学生女子の部
準優勝　小島　彩瑛（①佐大附属）

◆第25回佐賀県中学生空手道大会新人戦（11／27）
個人組手　中学1年女子の部
準優勝　小島　彩瑛（①佐大附属）
個人形　中学1年女子の部
3位　小島　彩瑛（①佐大附属）

◆第63回佐賀県学童美術展覧会市審査（11／4）
平面部門
入選　星川琉偉（①昭代第一）・川野心美（①旭）
小島彩瑛（①佐大附属）・宮崎一誓（②赤松）
末森恵名（②高木瀬）・川内丸太一（②千代田中部）
浦井那桜（②日新）・西村知世（③新栄）
鐘ヶ江佳大（③日新）・副島空姫（③嘉瀬）

◆第63回佐賀県学童美術展覧会（11／15）
平面部門
特選　金色ひより（③循誘）・中村崇馬（①本庄）

◆第63回佐賀県学童美術展覧会（2／7）
立体部門
準特選　星川琉偉（①昭代第一）

◆第63回佐賀県学童美術展覧会市審査（2／7）
立体部門
入選　小島彩瑛（①佐大附属）
本島琳子（②勧興）
佳作　末森恵名（②高木瀬）

◆第82回全国教育美術展東京中央審査会（2／10）
入選　鐘ヶ江佳大（③日新）
川内丸太一（②千代田中部）
佳作　星川琉偉（①昭代第一）

◆令和４年度統計グラフ佐賀県コンクール（11／29）
入選　浦井那桜（②日新）・豊増恒生（②旭）
佳作　江島邦彦（②赤松）・本島琳子（②勧興）
小柳響加（②鍋島）

◆第58回新春読書感想文コンクール地区審査（1／13）
特選　吉田　眞悠子（②東与賀）
入選　山崎　杏南（①西与賀）
金色　ひより（③循誘）

◆令和４年度技術・家庭科生徒作品展（11／2）
優秀賞　浦井那桜（②日新）・篠崎姫花（②新栄）

◆第22回佐賀市中学生創造ものづくり教育フェア（11／4）
特選　浦井那桜（②日新）・松石望愛（②若楠）
入選　實松久玲愛（②千代田西部）
石橋杏愛（②北明）・江島邦彦（②赤松）
川内丸太一（②千代田中部）・古賀　凜（②春日）
篠崎姫花（②新栄）・末森恵名（②高木瀬）
豊増恒生（②旭）・中野心晴（②赤松）
平井稜大（②麓）・宮崎一誓（②赤松）
本島琳子（②勧興）・吉田眞悠子（②東与賀）

◆佐賀県中学生創造ものづくり教育フェア（11／11）
特選　浦井那桜（②日新）
入選　實松久玲愛（②千代田西部）

◆第23回アバンセ杯放送コンクール（1／29）
中学生朗読部門
審査委員特別賞　吉田　眞悠子（②東与賀）

◆新年書き方会（1／30）
入選　平田　謙心（③思斉館）

学園だより

九州龍谷短期大学

鳥栖市

龍谷こども園での活動を紹介します！

2月3日(金)保育学科のスキルアップ・プログラム舞台制作ユニットの学生が、年長さんを対象に、オペレッタ『北風と太陽』を上演しました。
今年度の舞台制作ユニットでは、子ども参加型のオペレッタの制作に取り組んでおり、劇の途中では、子どもたちに手作り楽器で"音のお手伝い"をしてもらう場面も！
学生の熱演に、普段は元気いっぱいの子どもたちも集中して観劇してくれました。

また、2月8日(水)は、保育学科の1年生5名が幼児体育に参加し、年長さんの体力測定と年中さんのクラス対抗ドッチビーを楽しみました。
年長さんは「僕上手だよ」「私走るの速いよ」と測定前からやる気満々！
ドッチビーでは学生の後ろに隠れる子どもや、逆に学生を当ててやろうと燃えている子どもなどもいて、みんなで楽しく活動できました。

付属園との関わりがあることで、実習以外にも子どもたちと触れ合うことができ、学生にとってもいい学びの時間となりました。

九州龍谷短期大学の公式Instagramをご存知ですか？
普段の学生の様子やオープンキャンパスの様子、入試情報など様々なお知らせをお送りします。

@K_RYUKOKU_TANDAI

佐賀龍谷学園が設置する学校（短大・高校・中学）に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。
詳しくは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型　認定こども園

九州龍谷短期大学付属
龍谷こども園

龍谷こども園の子どもたちは、こんなことを楽しんでいます。

パンを買って、パンパーティー。「かんぱーい！」(ひばり組)

ひな人形作り
完成まであともう少し！(つばめ組)

アイスクリーム屋さん
みんなで作りました！(あひる組)

保育実習の先生と手作りおもちゃで遊んだよ！(たまご組)

野菜スタンプを楽しみました！(ほし組)

先生と一緒に電車ごっこ楽しいな！(ゆめ組)